

無断で触っちゃ イヤイヤ!

先日、車掌の業務連絡書を誤って、他人の乗務鞆に入れ、一時紛失する事象がありました。

その事象に対して、会社は、乗務鞆のカギのダイヤル番号について各自ぞろ目以外の番号に変更しなさいという内容の営業科掲示（大阪運輸所のみ）を多くの乗務員の意見を聞くこと無しに一方的に出しました。

この対策に関して、多くの乗務員は「必要な資料や、作業に必要な物が、直ぐに取り出せないし、対応が出来ない」「他所の乗務員は従来通りだから、一部だけ変更しても意味がない」など、不満の声が上がっていました。

6月18日、あろうことか営業科清水助役が、準備室の乗務鞆置き場で、本人に断りもなく、無断で個人の乗務鞆に手をかけ、ダイヤルのチェックをするということが、発覚しました。

その光景を目撃した乗務員から、「プライバシーの侵害だ」「止めろ」などの声上がり、さらに女性乗務員から「気持ち悪い」など声が上がりました。

翌日、そうした状況を聞いた、東海労分会役員が当該の清水助役に抗議しました。

分会役員・・・「乗務鞆を勝手に開けていると聞いたが、本当か？」

清水助役・・・「声かけして確認している」

分会役員・・・「全員に声かけは不可能だ。その場に居てない乗務員もいる」

清水助役・・・「掲示内容にそって確認した」

分会役員・・・「貴重品がなくなれば、貴方の仕業になる。プライバシーの侵害。問題にする。止めるべきだ。所長の指示か？科長の指示か？」

清水助役・・・「盗るわけないやろ。私の判断でやった」

分会役員・・・「ネズミ取りみたいな事はせず、乗務員をもっと信用すべきだ」

清水助役・・・「もうやらない。ごめんなさい！」

素直に反省したことは、評価します！